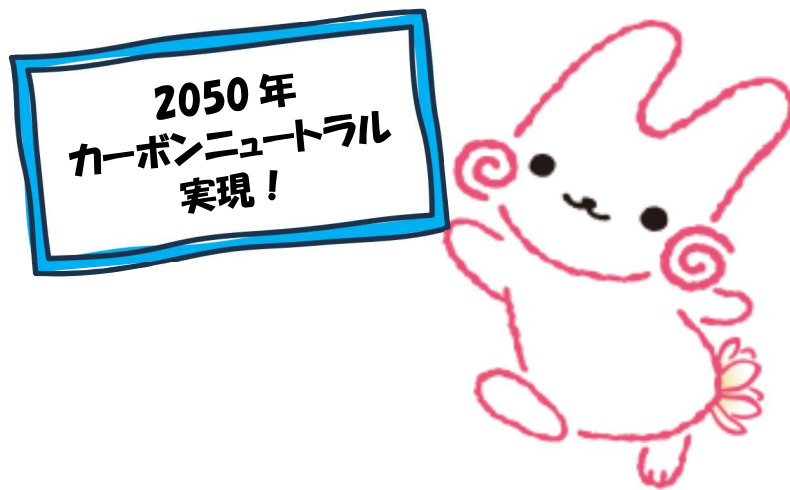


立川市カーボン・マネジメントシステム (TCM)

ガイドライン（案）



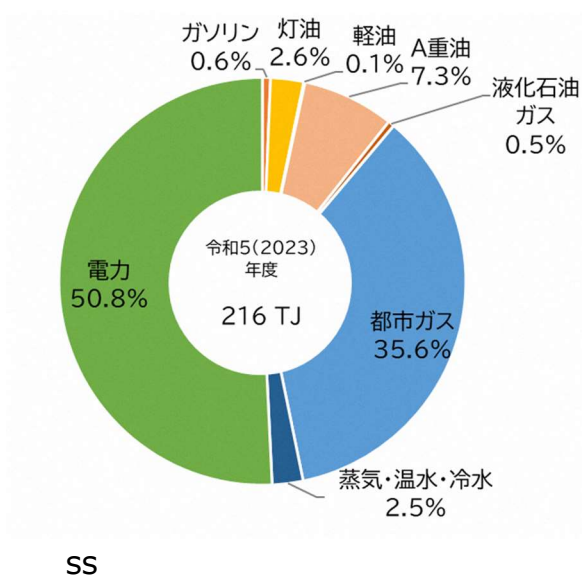
令和7（2025）年

立川市カーボンマネジメントシステム（TCM）とは

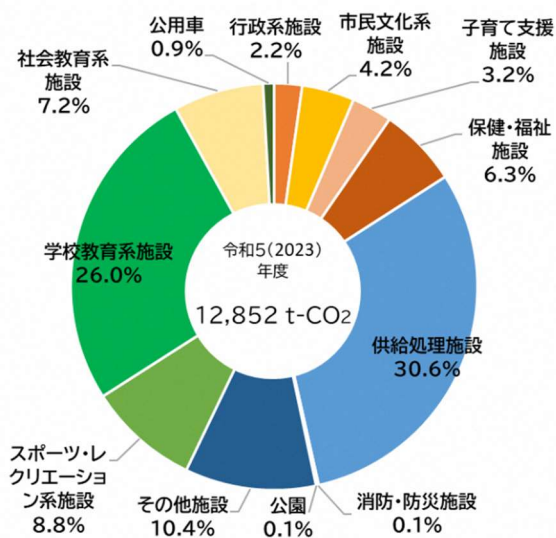
これまで市は「エコオフィスプラン 21」を通じて、事業者立川市としての地球温暖化対策を推進してまいりました。制度導入当初からすると、職員の環境配慮に対する意識づけに一定の効果が得られたものと考えます。一方で、毎月の取組状況報告や年間目標の設定方法、評価方法については、一部形骸化しているのもまた事実でした。「立川市カーボンマネジメントシステム（TCM）」（以下「TCM」という。）は、市がこれまで実施してきた「エコオフィスプラン 21」の基本的な考え方である就業時における『①省エネルギー』『②省資源』『③ごみ減量・リサイクル』を継承しつつ、『④施設のエネルギー使用量』を施設所管課が把握・振り返りを実施することにより、温室効果ガス排出量の削減を実効性ある取組とするためのものです。

立川市（事務事業）の状況

燃料種別エネルギー消費量



施設類型別エネルギー起源二酸化炭素排出量



運用体制

TCM の前身であるエコオフィスプラン 21 の運用体制と同様に、各課 1 名ずつ職場推進委員及び職場推進責任者を選任します。

それぞれの役割については、以下の通りです。

■ 職場推進委員

TCM の推進にあたり、各職場に推進委員を配置します。推進委員を中心に、各職場の推進体制を構築していきます。なお、施設を所管する課につきましては、施設ごとのエネルギー使用量を毎月報告します。

■ 職場推進責任者

管理者として、各職場の『省エネルギー』『省資源』『ごみ減量・リサイクル』を推進する体制を職場推進委員と協力して実施する体制を作ります。

各課課長、保育園は園長、学校は副校長を責任者とする。

スケジュール

年間スケジュールは以下のとおりです。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標シート作成												
通年取組												
エネルギー使用量入力												
レポート作成												
フィードバック												

目標シート作成

職場推進委員は責任者と協力し、年間の目標シートを作成します。

TCM 目標シート

●年●月●日
○○課長

重点取組事項

執務スペースの電力使用の削減を進めます。

1 OA機器等の節電の徹底

長時間の離席時にはPCの電源を切る、短時間の離席時にはスリープモードを活用する、昼休み・退庁時にはプリンターの電源を切るなど、OA機器等の節電に努めます。

2 照明の効率的な利用の推進

職場の照明は労働安全基準を守りつつ、過剰な照明は点灯せず、必要不可欠な範囲で効率的に点灯し、無駄を省きます。

3 空調の効率的な使用の推進

中間期はドアや窓の開閉を上手に行い、外気を使いながら快適な室内にします。

室内温度は、夏は 28 度、冬は 20 度を目安とし、空調機器の起動時刻、停止時刻を適切に管理します。また、全熱交換器を有効に活用します。

通年取組

目標シートに記載した取組内容を中心に、各職場での取組を実施します。
具体的な取組内容は、以下を参考にしてください。

通年取組に当たっては、組織を管理する者自らが率先して環境行動を実践することで、職場の機運醸成を図り、推進体制の雰囲気をつくることが重要です。

(ア) 全職員に共通する取組

【執務環境】

- ◆ 昼休み・退庁時・不在時は基本消灯する。
- ◆ 窓際照明を消灯（昼光利用）する。
- ◆ 室温に合わせた服装を心掛ける。
- ◆ 夏期・冬期以外の中間期は、外気の入入れにより温度調整を行う。

【事務】

- ◆ OA 機器の長期不使用时は、コンセントを抜き待機電力を抑える。
- ◆ 事務用品購入の際は、グリーン購入適合品（環境に配慮した商品）を調達する。
- ◆ 紙の分別を徹底する。
- ◆ ごみの分別を徹底する。
- ◆ DX を推進し、ペーパーレス化を図る。
- ◆ 両面印刷・裏紙利用を推進する。

【移動】

- ◆ エレベーターの使用は必要最小限にする。
- ◆ エコドライブを徹底する。
- ◆ 近距離であれば、徒歩・自転車で移動する。
- ◆ 遠距離の移動には、公共交通機関の利用に努める。

通年取組

（イ）設備・機器の保守・管理・運用に関わる取組

【照明設備】

- ◆ 照明器具を定期的に清掃する。
- ◆ 照度の調整や間引き、点灯時間を見直すことで、照明照度の適正化を図る。

【空調設備】

- ◆ エアコンのフィルターを清掃する。
- ◆ 風量・風向を『自動』に設定する。
- ◆ 設定温度を見直す。（室温を夏季は 28℃、冬季は 20℃を目安）
- ◆ 休館時の運転範囲を見直す。

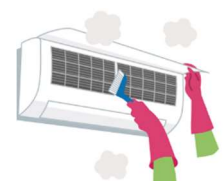
【給湯設備】

- ◆ 必要に応じて夏期、冬期の設定温度を見直す。

【その他】

- ◆ 便座の設定温度の適正化

(参考)省エネ効果試算例

照明の間引き	
【内容】 照明（40W×2 灯）を 8 台から 4 台に間引きする。	【年間削減効果】 二酸化炭素排出量：約 480kg-CO₂ 電気使用量：約 1,000kWh 金額：約 25,000 円
【条件】 ○ 消費電力：84W/台 ○ 稼働時間：3,000h/年 ○ 電気料金：24.9 円/kWh ○ 排出係数：0.475kg-CO₂ 東京電力エナジーパートナー(例)令和 5 年度実績	
エアコンの温度調整	
【内容】 エアコン 1 台の設定温度を夏期・冬期ともに 2℃緩和する。（夏期 28℃、冬期 20℃を目安）	【年間削減効果】 二酸化炭素排出量：約 290kg-CO₂ 電気使用量：約 600kWh 金額：約 15,000 円
【条件】 ○ 消費電力：7kW ○ 負 荷 率：40% ○ 稼働時間：1,440h/年 ○ 電気料金：24.9 円/kWh ○ 排出係数：0.475kg-CO₂ 東京電力エナジーパートナー(例)令和 5 年度実績 ※2℃緩和により、平均 15%削減と仮定	
エアコンのフィルターの定期清掃	
【内容】 定期的にエアコンのフィルター清掃を実施する。	【年間削減効果】 二酸化炭素排出量：約 110kg-CO₂ 電気使用量：約 240kWh 金額：約 6,000 円
【条件】 ○ 消費電力：7kW ○ 負 荷 率：40% ○ 稼働時間：1,440h/年 ○ 電気料金：24.9 円/kWh ○ 排出係数：0.475kg-CO₂ 東京電力エナジーパートナー(例)令和 5 年度実績 ※定期清掃により、平均 6%削減と仮定	

エネルギー使用量入力

施設等を所管する組織（指定管理施設等を含む）は、前月分のエネルギー使用量を原則毎月報告します。

- 報 告 方 法：指定のエクセルファイルによる提出
- 提 出 先：全庁共有フォルダ
- 対 象 施 設：巻末「対象施設等一覧表」を参照
- 対象エネルギー：電気、都市ガス、プロパンガス、水道、灯油、重油、
産業用以外の蒸気、温水、冷水

入力方法

1. 全庁共有フォルダ「【環境政策課】TCM 入力シート」
⇒「【〇〇課】エネルギー使用量入力シート」を開く。
2. 毎月、使用したエネルギー使用量を施設ごとに入力する。

エネルギー使用量入力シート														
令和 7 (2025) 年度			〇〇課			推進責任者		〇〇 〇〇						
						推進委員		〇〇 〇〇						
施設概要														
名称														
延床面積														
電気事業者名														
自家発電の種類														
エネルギーの使用がない項目については、記入不要です。														
種類	単位		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気	買電量	kwh												
	自家発電量	kwh												
都市ガス（東京ガス）	使用量	m³												
プロパンガス	使用量	m³												
灯油	使用量	L												
重油	使用量	L												
熱：産業用以外の蒸気	使用量	MJ												
熱：温水	使用量	MJ												
熱：冷水	使用量	MJ												
水道	使用量	m³												

3. 入力後、上書き保存で閉じる。

レポート作成

年間の取組を振り返り、レポートを作成します。振り返りは目標シートに掲げたものを主に記入してください。

TCM レポート

●年度	●●課	作成日	●年●月●日
		推進責任者	●● ●●
		推進委員	●● ●●

1 温室効果ガス排出量状況

●年度の排出量	基準年度の排出量	削減状況	増減要因
●●● t-CO ₂	●●● t-CO ₂	●%減少	・平年より夏季の平均気温が低かったため、冷房需要が減少した。 ・熱源機、空調機の運用管理を実施したため。

※施設を所管していない部署は記入不要です。

※削減状況は、基準年度に対する増減比率(%)を記入してください。

2 活動実績

活動実績	自己評価
・施設利用者には、来館時に照明、空調の使用についての注意伝達を徹底し、省エネへの協力依頼を行った。 ・空調機のフィルターを2か月に1度の定期清掃を実施した。 ・設備管理点検業者とともに、熱源機の起動時刻と冷温水出口温度の設定を試した。その結果、起動時刻は開館時間の 30 分前、冷水出口温度 10℃、温水出口温度 45℃に緩和しても施設利用者に不快感を与えないことが分かった。	・概ね目標シートに掲げた取組は実施できた。 ・今年度は、夏季の平均気温が低く、例年より冷房の稼働が少なかったため、熱源機の調整や空調機等の清掃による温室効果ガスの削減量は判別しにくいですが、エネルギー使用量がかなり減少しており、相当の効果があったと考えられる。

3 今後の取組方針

今後の取組方針
・引き続き、施設利用者への省エネへの協力要請を実施するほか、設備の保守・点検、運用改善を継続する。 ・排出係数の低い電力事業者との契約について、引き続き、検討を行っていく。

4 フィードバック

コメント

フィードバック

各課が提出した「TCM レポート」に対して環境政策課がコメントを記載します。次年度「目標シート作成」の際、参考にしてください。

対象施設等一覧表

No.	施設名（例）	No.	施設名（例）
1	コトリンク	25	斎場
2	女性総合センター	26	地域福祉アンテナショップ
3	本庁舎	27	福祉作業所
4	シルバーワークセンター	28	地域福祉サービスセンター
5	公用車	29	健康会館
6	立川駅南口地域安全サービスステーション	30	駐車場
7	窓口サービスセンター	31	駐輪場
8	富士見連絡所	32	道路（街路灯、ポンプ室等）
9	防災井戸	33	公園（管理棟、園内灯等）
10	消防団	34	中里測定局
11	チャレンジショップ	35	ポンプ場
12	ファーマーズセンターみのーれ立川	36	総合リサイクルセンター
13	市民会館	37	公衆便所
14	こども未来センター	38	クリーンセンター
15	旧多摩川小学校跡地	39	競輪場
16	市史編さん室	40	小学校
17	体育館	41	中学校
18	屋外体育施設等	42	学校給食共同調理場
19	ドリーム学園	43	地域学習館
20	学童保育所	44	学習等供用施設
21	児童館	45	歴史民俗資料館
22	保育園	46	古民家園
23	総合福祉センター	47	八ヶ岳山荘
24	福祉会館	48	図書館

令和7(2025)年3月現在